

永 生 病 院 だ よ り

ゆるめま

2011
VOL. 25

- ▶ 理事長のあいさつ
- ▶ 健康ひろば「うつ病ってどんな病気??」
- ▶ 『日本赤十字社献血功労表彰
銀色有功章』を受賞
- ▶ 第6回 院内学会開催
- ▶ 一般事業主行動計画策定
- ▶ 夏祭り
- ▶ 編集後記

病院理念

・信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

基本方針

- ・良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
- ・患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
- ・医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、
全員参加で取り組みます



KEIRYOKAI

● 理事長のあいさつ

医療現場からの報告

～他職種連携で医療・介護の融合を目指す～

このたび、医療・介護の垣根をこえて他職種連携で取り組む当法人のチーム医療がテレビせとうちの番組「医療現場からの報告」で放映されました。たとえ病気や障害があっても在宅復帰され、前向きにその人らしい生活を送られている患者さま、あるいは在宅復帰に向けて入院治療中の患者さまを中心に、それを支援している法人全職員の姿を撮影していただきました。

これからの高齢化社会において求められる医療は、患者さまの生活をどのように支えていくかということになり、その過程においては、医療と介護の垣根はありません。全スタッフが患者さまの情報を共有し、急性期から慢性期、そして在宅復帰へと支えていくチーム医療を目指します。



理事長

以下の写真は、撮影シーンの一部です。



多職種でのカンファレンス



退院前訪問



訪問リハビリ



嚥下造影検査

医療と介護の融合を目指したチーム医療を展開してきましたが、自らを客観的に見直す貴重な機会となりました。

居宅介護支援事業所ケアマネージャー



病院と密に連携し、回診やカンファレンスに参加することにより、入院中の患者さまの状態や退院に向けての課題を把握でき、より安心して在宅復帰できるようにすすめていきます。

看護部部長



チーム医療は患者さまを中心に考えていくので出産・育児に際し、ワークライフ・バランスの制度を利用しキャリアを中断することなく職場復帰し、さらにスキルアップしていきます。

診療技術部部長



リハビリは、患者さまが元の生活にもどるための全人間的な復権ですが、理学療法、作業療法だけがリハビリではなく、病院全体で行っているチーム医療がまさにリハビリであると思います。

これってもしかして、うつ病かも…

- なんとなく物悲しい、沈んだ気分が続いている。
- 何をしてもおもしろくないし、何かをしようという気持ちさえ起きなくなってきた。
- 「何を食べても、砂を噛んでいるようだ」
「食べなくてはいけないと思うから、口の中に無理に押し込んでいる」
- とくに朝早く目が覚めるようになった。
- ほかの人から見てもすぐにわかるほど身体の動きが遅くなったり、
口数が少なくなったり、声が小さくなったりする。
- ほとんど身体を動かしていないのにひどく疲れたり、身体が重く感じられたりする。
- 一つのことをよくよ考え込んで、何回も何回もほかの人に確認をしたりするようになる。
- 注意が散漫になって、集中力が低下してきた。
そのために仕事が以前のように進まなくなったり、学校の成績が落ちたりしている。
- 気持ちが沈み込んでつらくてたまらないために死んだ方がましだと考えるようになった。



誰もがこのような気分になることがあると思いますが、うつ病の人はとくにこの状態が深刻になっており、治療を必要としている場合が多いです。

治療には大きく分けて、①**カウンセリングや生活改善**と、②**薬物治療**があります。うつ病は必ず良くなる時期がくるので、周囲の理解やサポートも必要です。

また、薬だけ飲めばよくなるという単純な病気ではありません。薬の副作用も大きいものであるため、治療には必ず定期的な医師の診察とサポートが必要です。

このような症状が気になっている方は一般内科にてお気軽にご相談ください。

内科 喜田 光洋

●『日本赤十字社献血功労表彰 銀色有功章』を受賞

平成23年7月15日(金)香川県庁にて



『平成23年度献血運動推進全国大会における 厚生労働大臣表彰状及び感謝状等伝達式』にて当院は、『日本赤十字社献血功労表彰 銀色有功章』を受賞しました。

これは、25年間継続して献血に協力をしたことに対する受賞です。採血をされるのが苦手な職員もいますが、これからも継続して協力していきたいと思えます。

●第6回 院内学会開催

平成23年9月に院内学会を開催しました。今年で6回目となりましたが、法人全体で取り組むことで、他部署の業務や取り組みについて理解できる良い機会となっています。59演題の中から最優秀賞、優秀賞2題が選ばれ、さらに今回より特別賞をもうけ、「工夫とアイデアと努力の賜物で賞」「みんなでわいわい美味しかったで賞」が選ばれました。最優秀賞の演題は「入院患者動向から考える介護療養型病棟の役割」でした。



●一般事業主行動計画策定



次世代育成支援対策推進法に基づき平成23年4月1日以降、従業員101人以上300人以下の企業も一般事業主行動計画策定が義務化されました。当院では既に平成18年より一般事業主行動計画を策定し取り組んだ結果、平成20年10月には認定マーク「くるみん」を取得しました。今回3期目として次のとおり一般事業主行動計画を策定して取り組みます。

期間 平成23年11月1日～平成27年3月31日

目標 子供が生まれる際の父親の休暇取得促進

両立支援推進委員会

●夏祭り



平成23年8月27日(土)今年で17回目となる恒例の永生病院夏祭りを開催しました。天候に恵まれたおかげで、例年よりも多くの方に来ていただくことができました。



今年は、麻っ子連による南中ソーラン、月下桜舞連による婆娑羅踊り・忠八太鼓・フラダンスと盛りだくさんの内容で皆様をお迎えすることができました。

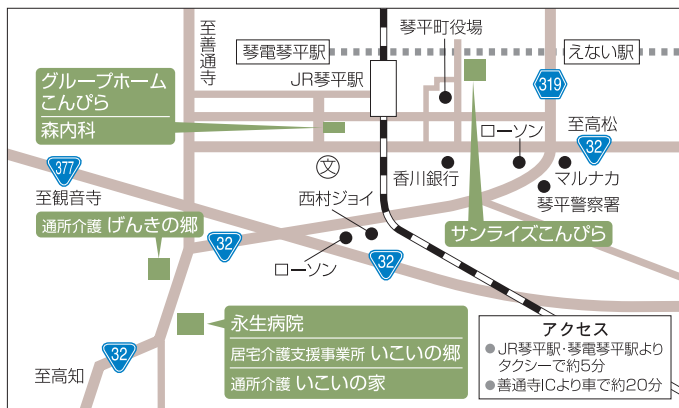
晩夏の夕暮れ時、ささやかではありますが、楽しいひと時を過ごして頂けたものと思います。来年も皆様に楽しんでいただけるような夏祭りを企画いたしますので、ぜひまたご参加ください。

【編集後記】

猛暑が連日続いた夏が終わり、めっきりと秋めいてきました。

当院では、9月25日にテレビせとうちのドキュメンタリー番組に、医療現場からの報告～多職種連携で医療・介護の融合目指す～というタイトルでテレビ放映され、当院の取り組みが紹介されました。

今後も患者様・利用者様に安心して心から満足して頂ける様な医療介護を目指し、地域の健康増進に全職員で取り組んでまいります。



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるぬき」第25号

発行元：医療法人圭良会 永生病院

編集者：医療サービス改善委員会

住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3

TEL:0877-73-3300

FAX:0877-73-3202

永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>

eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp

発行年月日:平成23年10月15日

医療法人圭良会

- | | |
|----------------------------------|---|
| ● 永生病院 | 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300 |
| ● いこいの家 (通所介護) | Tel 0877-73-3718 |
| ● いこいの郷 (居宅介護支援事業所) | Tel 0877-73-3655 |
| ● げんきの郷 (通所介護) | 仲多度郡まんのう町買田102-1
Tel 0877-58-8811 |
| ● 森内科 | 香川県仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188 |
| ● グループホームこんぴら
(認知症高齢者グループホーム) | Tel 0877-73-0811 |
| ● サンライズこんぴら
(小規模多機能型居宅介護) | 香川県仲多度郡琴平町榎井宇池田451番地1
Tel 0877-58-8600 |